令和7年度

学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

令和　8年　10月　6日

岡山自動車大学校
校長　原田公徳　殿

学校関係者評価委員会
委員長　森　秀樹

学校関係者評価報告書

令和7年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1　学校関係者評価委員

森　秀樹　　（おかやま山陽高等学校　自動車科）
赤木　晴彦　（一般社団法人岡山県自動車整備振興会　事業部　係長）
片山　貴志　（岡山トヨタ自動車株式会社　管理本部経営管理室総務グループマネージャー）
太田　賢志　（岡山トヨタ自動車株式会社 人事グループ　マネージャー）
松岡　正志　（岡山ダイハツ販売株式会社 人事部）
水野　正和　（岡山ダイハツ販売株式会社 人事部　課長）

2　学校関係者評価委員会の開催状況

第１回委員会　令和8年10月6日（会場　岡山自動車大学校　会議室）

3　令和7年度学校関係者評価報告

学校関係者評価委員からの主な意見

（1）教育理念・目的・目標 教育理念、教育目標、人材育成像など分かりやすく定められており、適切である。
（2）教育課程・教育の実施・学修成果 意思決定システムについて質問あり。 職員室が離れていることについてズーム会議を取り入れてはとの提案あり。
（3）学生の受入れ・学生支援 教員のスキルアップについて研究授業の進め方について質問あり。
（4）教育実施組織・教員 退学理由の多様化について、退学理由の具体的な把握はできているかとの質問あり。

（5）教育環境

カウンセラーの配置ができているか質問あり。

（6）教育活動の基盤と改善

学生間の交流の機会について質問あり。
実習中のケガなど安全管理について情報共有の方法について質問あり。
写真を見せて危険個所を探すなどの「危険予知ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ」を取り入れてはどうかとの提案あり。

（7）学生の受入れ募集

おかやま山陽高校のオープンキャンパスへの連携強化を進める。

（8）財務

評価項目を確認し、特に提言なし。

（9）法令等の遵守

法令の情報収集について担当者は置いているか質問あり。

（10）社会貢献・地域貢献

ボランティア活動の参加で、学生を評価してはどうかとの提案あり。

総括

学校関係者委員からの評価は良好であり、自己評価は適切であると考えられる。
自己評価の低い項目についての質問が多く出たため、様々な意見が出され、
良い提案ができたと考えられる。
今後も継続して適切な学校運営をしていただきたい。

学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

（1）教育理念・目的・人材育成像

第一教育目標である自動車整備士登録試験100％合格を目指す。

（2）学校運営

学生募集が厳しくなる中で、一級の増員を目指していく。
教員間の意思疎通については、職員会議などで情報共有を図りたい。

（3）教育活動

教員の研究授業を実施し、スキルアップを図りたい。
全国自動車大学校・整備専門学校主催の教員研修にも積極的に参加していく。

（4）教育成果

一級・二級ともに100％合格となるよう努力する。
非常に退学者が少なく適切に指導出来ていると思う。
退学理由の把握については、引き続き丁寧に取り組んでいきたい。

（5）学生支援

学生のメンタルケアについては担任を中心に全教員で協力していく。
寮の老朽化については適宜対応していく。
成人年齢の変更による保護者対応について、保護者との連絡は今まで通りとする。

（6）教育環境

来年4月からの新カリキュラム移行について、必要な教育装置の導入を進める。
実習中の安全管理について、情報共有をする。

（7）学生の受入れ募集

来年度から学費値上げを実施する。今後の値上げについては慎重に検討したい。
おかやま山陽高校のオープンキャンパスへの参加は内容を充実させ継続していく。

（8）財務

引き続き、健全な財務状況を維持していく。

（9）法令等の遵守

情報収集を怠らず、臨機応変に対応できるようにしていきたい。

（10）社会貢献・地域貢献

社会貢献であるボランティア活動は、生徒の自主性に任せている。
校内献血活動については、引き続き行っていく。

総括

学校関係者評価委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

委員から出された意見に関しては教職員一同真摯に受け止め、対応・改善していきたい。

委員の意見・提言がより出しやすいように評価項目自体も今後も常に見直していきたい。